

和歌山県立  
田辺中学校

# 学校だより



平成28年3月15日  
第147号

## 学校長式辞

### 「さらなる成長を願って」

校長 岩崎浩久

厳しかった冬の寒さも和らぎ、少しずつ自然が輝きを取り戻し、ここかしこに春の訪れを感じるこの佳き日に、田辺中学校の全課程を修了され、卒業されました皆さん、卒業おめでとうございます。

四月から、皆さんは高校生となり、新しい環境での学校生活が始まります。しかし皆さんは、田辺中学校で学んださまざまなことを活かし、夢を持ち、それを具体的な目標へと変え、自らの知恵と力で、逞しく未来を切り拓いていってほしいと思います。

卒業にあたり、世界的に有名なある会社のお話しをしたいと思えます。その会社の名前はハードロック工業株式会社、東大阪市にあり、現在の従業員は五十三名というたいへん小さな会社です。



この会社はネジを販売しています。昭和四十九年に「絶対に緩まないネジ」を開発し、世界的に有名になりました。ネジを使用するもので、利用する人々の安全を完璧に守らなければならぬものは、世の中に数多くあります。取り付ける場所によっては、保守点検が難しいこともあるでしょう。そのようなとき、この「絶対に緩まないネジ」は威力を発揮します。しかし、ネジというものは取り外しができるといふのが前提ですから、振動で緩んでしまうという事は避けられないように思えます。絶対に緩まないということと、ネジがネジとして機能することとは、本来矛盾しているのです。この会社が現在販売しているものはネジすべてではなくて、正確に言うと、ネジの部品のうちナットと

呼ばれるものです。

この会社の若林克彦社長は、小さい頃から工夫や発明が大好きでした。きっかけは十歳の時、父親の郷里で、みんなが腰をかかめて一粒ずつ種まきをしている姿を見て、何かよい方法はないかと考えたことでした。若林少年は、車輪のように回転する仕組みに等間隔に穴を開け、それを転がして種をまく道具を作りました。この発明に大人たちは大喜びしてくれました。「自分のちよつとした工夫で周りの人が喜んでくれる」、これが原体験となつて、後に若林社長は、卵焼き器やトイレトペーパーホルダーなど、次々とヒット商品を開発することになります。

若林社長は大学卒業後、大阪のバルブメーカーに就職しました。ここで彼の目は、戻り止めナットと呼ばれるものに釘付けになります。ナットの中にコイル状のバネが入っていて、この抵抗でネジを緩みにくくするものです。彼はこのバネを板状に変えて、作りやすく性能のよい「Uナット」と呼ばれる商品を開発しました。バルブメーカーを辞め、会社を立ち上げましたが、このナットは一向に売れません。新しい商品は問屋に置いておくだけで売れないのです。彼は工場まわりを始めました。経営の苦しい間は、卵焼き器など以前の発明が支えになってくれま

した。そうして、二、三年が過ぎた頃、やっと「Uナット」は売れるようになりました。

「Uナット」は普通の環境で使用する限りは緩まないのですが、振動の激しい環境で使用すると緩みます。この商品は常にクレームと隣り合わせでした。「絶対に緩まないネジ」は開発できないのか、若林社長は悩み抜きます。ある年、初詣に行った住吉大社で、鳥居を見てアイデアがひらめきました。鳥居の継ぎ目に楔と呼ばれるものが打ち込んであったのです。試しにネジに楔を打ち込んでみるとどんな振動でも緩みません。ところがネジは簡単に締め付けられ取りはずしもできなければなりません。そこで彼はさらに考えて、現在販売している「ハードロックナット」をついに開発するのです。





「学びあい」「支えあい」「高めあい」の「3つのあい」を忘れず歩んでいただけることを期待します。

普通ネジ一組にナットは一個ですが、このナットは二個が一对になっています。ネジを締めると、片方のナットの隙間に、もう片方のナットの飛び出た部分が入り込むようになってきます。この凹凸が楔の役割をして、絶対に緩まなくなるのです。このナットは、瞬く間に受注が伸び、鉄道の線路をはじめとして、新幹線や飛行機、瀬戸大橋やスカイツリーなどに使用され、利用者の安全にたいへん貢献しています。

このハードロック工業株式会社は、たいへん小さな会社ですが、ここで働く人たちは皆、この仕事は自分たちにはできないという、夢と誇りを持って働いています。最後に若林社長の言葉を借りて、皆さんへの餞の言葉としたいと思います。「世の中のすべてのものはまだ未完成です。本社のナットも例外ではありません。仕事を通じて、たくさんの人に喜んでもらいたい。よいアイデアは人を幸せにします。そして資金や施設設備とは違い、アイデアは誰にでも平等にある財産です」

本日卒業されました皆さんが、これからの高校生活を、心身ともに健康で、明るくいいきいきと、誇りと高志、諦めず挑戦する心を持って、「学びあい」「支えあい」「高めあい」の「3つのあい」を忘れず歩んでいただけることを期待します。

## お別れ球技大会

三月二日（水）、後期生徒会が主催して、三年生お別れ球技大会を実施しました。



種目は毎年恒例のドッジボール。全校生徒を学年を越えた十六チームに分けて、対抗試合を行い、勝敗を競うとともに、卒業生と在校生が交流する最後の機会となりました。

学年末考査の翌日でしたが、天候にも恵まれ、テストの疲れを感じさせない程、大いに盛り上がりました。閉会式では、中央委員長を代表とするセレモニーも行われ、在校生から卒業生一人ひとりにあてた心温まるメッセージカードが贈られました。

準備や当日の運営をしてくださいました生徒会の役員さん、また、当日のライン引きを手伝ってくれた体育委員さん、ありがとうございました。



## クリーンフェスティバル

三月七日（月）、卒業式に向けて、協力して校内美化に取り組むことを目的に、生徒会と環境委員会が主催して、新しい企画であるクリーンフェスティバルを行いました。

日頃あまり十分に時間をかけることができない場所の掃除もでき、非常にきれいになりました。



## 3月・4月 行事予定

- 3月**
- 17日（木）生徒会立会演説
  - 22日（火）スクールカウンセラー来校  
田辺高校入学予定者登校日
  - 24日（木）修了式、生徒会認証式
  - 26日（土）～28日（月）強化合宿（陸上）
  - 27日（日）郡記録会（陸上）  
まちかどコンサート（吹奏楽）
- 4月**
- 5日（火）離任式（定刻登校）
  - 7日（木）高校入学式（午前）  
中学校入学式（午後）
  - 8日（金）新任式、始業式

